

<エコポリスセンター 地域エコロジー講座 詳細メニュー>

No.	44	主な対象	小学3・4年生以上向け(あいキッズ、寺子屋など) 一般区民向け(町会・自治会・サークルなど)
タイトル	ごみから地球温暖化を考えよう～コンポストからごみと温暖化のつながりを考えよう～(SOE)		
テーマ	地球温暖化、循環型社会 地産地消	形式	フィールドワーク
所要時間	1時半	人数	10～40名
推奨 実施時期	年間		
講師・費用	NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア(無償)	講師派遣数	
ねらい・内容	<p>■ねらい(90文字程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみを燃やすと温暖化を進める事をつかむ ・ごみを減らす方法ーダンボールコンポストをつくってみようー古土、ぬか、腐葉土、生野菜ごみを一緒に混ぜる ・コンポストは、温暖化防止の一步となることを理解する。 ・温暖化防止への行動目標を持つ <p>■内容(250文字程度)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 植物が育つのに必要なものを出し合う(水・太陽・肥料) 2. グループごと等、ダンボールに厚めに新聞紙を敷き詰めたものを用意する 3. 古土・腐葉土・ぬか・切れ端生野菜をダンボールコンポストと一緒に入れてかき混ぜる 4. 今後のコンポストの管理活動を学ぶ 5. 生ごみをごみにしないで、肥料として生かしながら、温暖化防止にも役立つことをつかみ、温暖化防止への意欲を高める <p>●今後、コンポストの土を毎日かきまわし、入れた野菜の変化を毎日観察していく(一度分解により温度上昇し、下がる)1か月後ぐらいに畑や鉢にまく</p> <p>■雨天時対応 なし</p>		 <p>写真(写 番号をつけ</p>
依頼元にご用意いただく材料等	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具・水筒・ハンカチ・よごれてもよい服装 ・生野菜ごみー表面を風に当てて生かわきのものを両手にのるくらい袋に入れ用意 ・ぬか 人数×50グラム程度(両手の平) ・腐葉土 人数×100グラム(両手の平) ・古土ー鉢などの土 NPOも用意 ・ダンボールー内側新聞紙 大きなビニル袋で持ち帰りも可(6人～8人分)で1箱 	講師側準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・PC・プロジェクター・温暖化関係映像 ・野菜くず・古土・腐葉土・ぬか 一箱分 ・行動目標を書く 短冊 ・ブルーシート ・ごみ袋など ・ふりかえりカード
依頼元に必要な設備・機材	・スクリーンなければカベ	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室、ホールの場合は室内で実施 ・中庭など使用できる
依頼元必要スタッフ数	10人に一人		
打ち合わせ	<p>【対応時間】9時～17時</p> <p>・電話かメールで連絡がとれるようお願いいたします。NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲアのスタッフからご連絡差し上げます。場合によっては直接会場で下見・打ち合わせをさせていただきます。</p>		
その他	<p>講師謝礼につきましては、エコポリスセンターにて負担いたします。</p> <p>★確定した【参加人数・班人数】を開催10日前までにご連絡ください。</p>		